

令和 7 年度授業改善推進プラン

教科名 理 科

学年	指導上の課題	具体的な授業改善策（補充・発展等）
1 年	・基礎・基本が身についていない生徒がみられる。 ・観察実験した結果をもとに、考える力やまとめるが不足している。 ・言語活動の充実。	○基礎・基本を重点に置き、学習内容が理解できるようにする。 ○理科プリントをきちんと書かせる指導をおこなう。 ○授業内で 1 問 1 答の演習を行い、知識の定着を行わせる。 ○補習等で小学校段階の計算を復習させる。 ○実験・観察を通して、器具の正しい使い方や実験・観察の結果を、相手に正しく伝えられる練習を行わせる。 ○観察・実験を中心に、ICT を活用し、授業における「見える化」を行い、理解を深め、興味・関心を高めさせる。 ○実験を行い、レポートを書かせることで、考察する力を身につける。 ○実験で得た、記録をもとに ICT でグラフをつくらせ視覚化することで考える力やまとめる力を高めさせる。 ○自分の考えを文章にまとめ、発表するなどの活動を通して、言語活動をおこなう。
2 年	・基礎・基本が身についていない生徒がみられる。 ・観察実験した結果をもとに、考える力やまとめる力が不足している。 ・言語活動の充実。	○基礎知識の上に培われるものと考え、自然事象と日常生活の関連をわかりやすく展開し、興味・関心をもたせる授業づくりを行う ○計画的に家庭学習に取り組ませるように課題を出す。 ○教え合い学習で、勉強が苦手な生徒の「わかった」というきっかけを作る。 ○観察実験を中心に、ICT を活用し、興味・関心を高める授業づくりを実践する。 ○ワークシートなどを利用して観察実験を行い、結果から考察をさせ、表現力や思考力を高められるようにする。 ○班での調べ学習を行わせ、発表させる活動を行う。
3 年	・観察実験した結果をもとに、考える力やまとめる力が不足している。 ・言語活動の充実。 ・全国学力調査・定期考査・復習確認テストの結果から、原子・分子をモデルで考える習慣が身についている。 ・学力を身につけ、高校受験に対応する力をきちんと身につけさせる。	○観察、実験を中心に、ICT の活用を行い、興味関心を高める授業作りを実践する。 ○観察、実験を通し、結論へのプロセスを考えさせる授業づくりを進める。 ○ワークシート・レポートなどを利用して観察実験を行い、結果から思考力や表現力を段階的に高められるようにする。 ○ペア・グループ活動での話し合いや科学作文を書くことで、自分の考えを伝える力・整理する力を高められるようにする。 ○2 年生の最初からずっと定期考査で化学反応式を出題し、科学カルタ等やモデル等で視覚的に考える習慣を継続して行っているの、イオンの化学式に入っても違和感なく学習できている。 ○3 年間のまとめの「総整理問題集」を計画的に取り組ませる。 ○問題集とそっくりテストに付属する。一問一答を繰り返し行ってから、テストに取り組ませることにより点数が上がった。